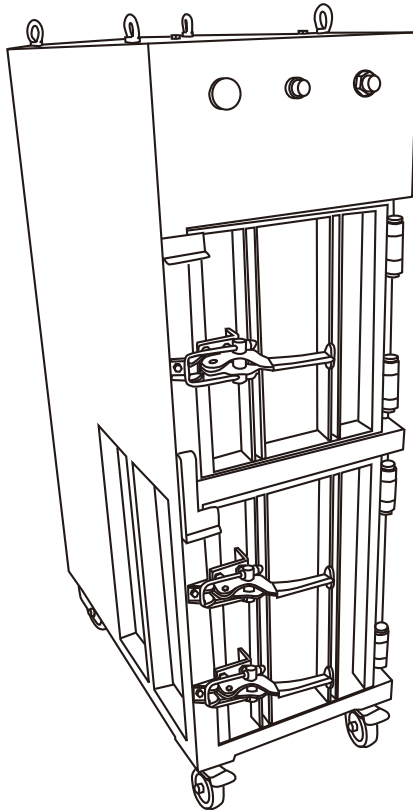


取扱説明書



このたびは、弊社「空き缶圧縮機 **PCM-4T**」をお買い上げ頂きましてまことにありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

仕様



電 源	単相AC100V 50Hz/60Hz
電 流	14A/11A
消 費 電 力	850W/700W
圧 縮 方 式	油圧式
圧 縮 力	4t
サイクルタイム	33秒/29秒
定 格 時 間	30分
電 源 コ ー ド 長 さ	約1.5m
本 体 寸 法	W450mm×D870mm×H1370mm
質 量	約197kg
圧 縮 可 能 な 缶	20Lペール缶・18L角缶(一斗缶)・1~4L缶・飲料缶等



※製品の外観・仕様等は改良等のため予告なく変更されることがあります。

安全上のご注意

- ◆ご使用になる前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示しました注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- ◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。









—— 表示と意味について ——

表示		表示の意味
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の例		図記号の意味
	分解・改造禁止	⊘ の記号は、禁止の行為を示します。(してはいけないこと) 具体的な禁止の内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「分解禁止」を示しています。
	プラグを抜く	● の記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。 具体的な強制内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「差込プラグをコンセントから抜く」ことを示しています。



警告

 分解・改造禁止	分解・改造は絶対にしないでください。 火災・感電・ケガの恐れがあります。	 100V使用	電源は、交流100Vを使用してください。 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の方は、分解・修理をしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。 修理はお買い上げの販売店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。	 プラグを抜く	清掃・点検の時は、スイッチを切り差込プラグをコンセントから抜いてください。 濡れた手で抜き差しをしないでください。 感電の恐れがあります。
 接触禁止	扉の隙間から本体圧縮室内に指等を入れたり、顔を近づけて覗き込んだりしないでください。 事故やケガの原因となります。	 設置場所	湿気が少なく雨等の水滴があたらない、水平で安定した場所に設置してください。
 接触禁止	濡れた手で操作しないでください。感電の原因になります。	 圧縮注意	缶の中に廃液が残っている場合は、必ず廃液を捨て、缶を空にしてから圧縮してください。 特に揮発性・引火性の高い溶剤（シンナー・アルコール等）が入っていた缶は、完全に乾燥させてから圧縮してください。



警告

 作業注意	作業は厚手の手袋をしてケガに気をつけて行ってください。	 取出し注意	圧縮した缶を取り出す際は、缶の裂け目等の鋭い場所でケガをしないよう充分に注意してください。
 使用禁止	ご使用中に異常音・振動・異臭等が発生した時は、直ちに使用をやめスイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の恐れがあります。	 水かけ禁止	製品には、水・洗剤等をかけたり、吹き付けたりしないでください。漏電により、火災・感電の恐れがあります。
 圧縮注意	缶は必ずキャップを外してから圧縮してください。	 ホコリを取る	差込プラグの刃および、刃の取付面に付着したほこりは、きれいに拭き取ってください。火災の恐れがあります。
 設置注意	本機は重量物ですので、移動や輸送の際は充分に注意してください。	 使用注意	必ずアース（接地）をしてご使用ください。電源コードのアースクリップからアースをしてください。また、アースはガス管に接続しないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。

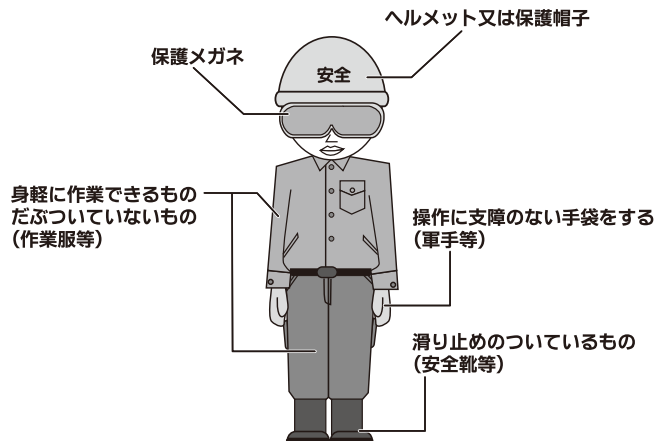


注意

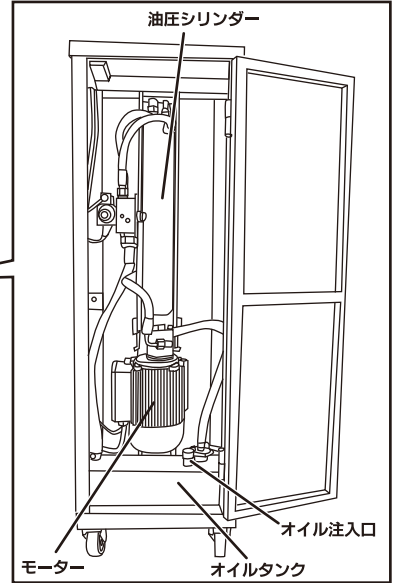
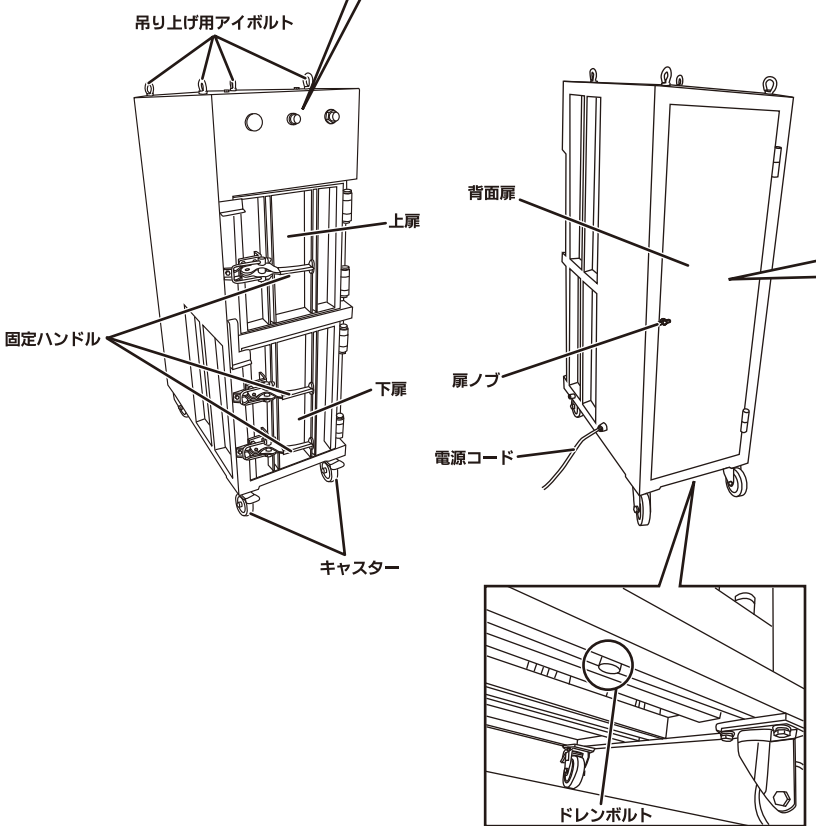
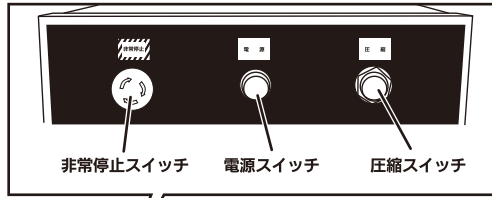
 プラグを持って抜く	コンセントから差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差込プラグを持って引き抜いてください。差込プラグが傷んでいるときは使用しないでください。	 使用禁止	電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。感電やショート、発火の原因になります。
 配線注意	電力は直接コンセントからお取りください。やむを得ず延長コードを使用する場合は、断面積2mm ² 以上、長さ10m以内の延長コードを使用してください。細い電源コードを使用しますと、電源コードが発熱し火災の危険があります。	 使用禁止	揮発性可燃物（シンナー・ガソリン等）の近くでは絶対に使用しないでください。殺虫剤・掃除用スプレーなどを電源コードに吹き付けしないでください。引火・変質・破損する恐れがあります。
 開閉注意	扉の開閉時、手等の挟み込みに注意してください。ケガの原因となります。	 取り扱い注意	お手入れの時は、手袋を着用してください。ケガの恐れがあります。

安全上の注意事項を守って、
正しくお使いください。

右図のような動きやすい服装で
作業を行ってください。

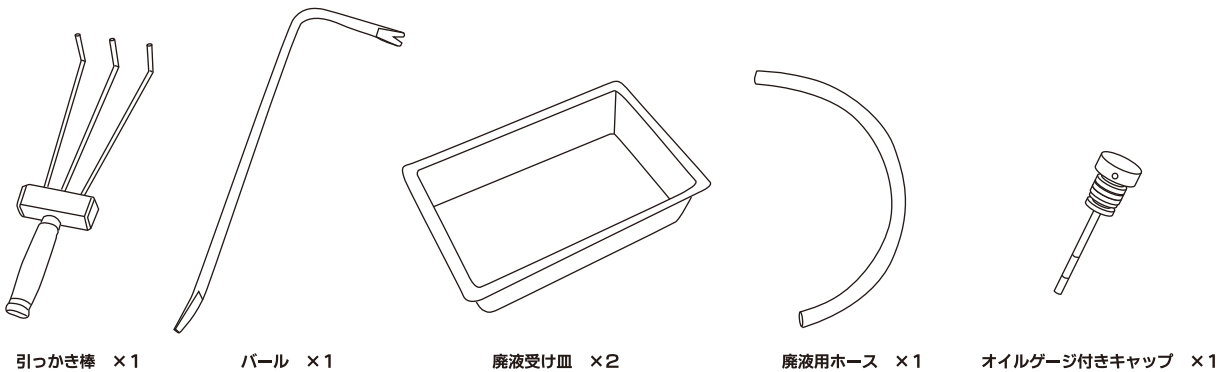


各部名称



付属品

※大きさは実寸比と異なります。

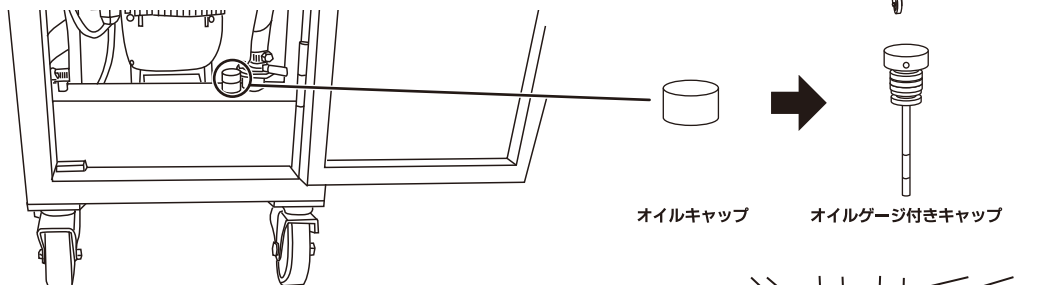


初めて使用する前の準備

●オイルキャップの交換

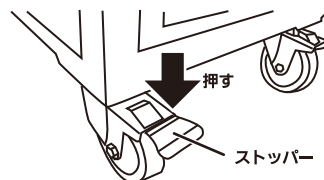
製品は運送時にオイル漏れを防ぐため、出荷段階にオイルキャップを締めてあります。設置後は必ず本体背面にある扉を開け、オイルキャップを付属のオイルゲージ付きキャップに交換してください。

※運送時にはオイルキャップを取り付けてください。



●キャスターの固定

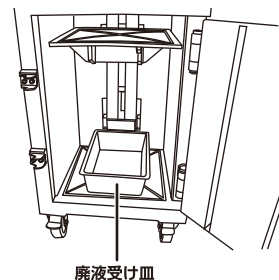
本機を設置後、安全のため前輪にあるストッパーを押してキャスターを固定してください。



使用する前の準備

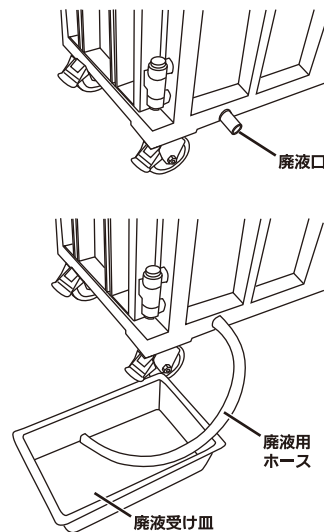
●廃液受け皿の設置

下扉を開けた底部の中央に廃液受け皿を設置します。



●廃液用ホース・廃液受け皿の設置

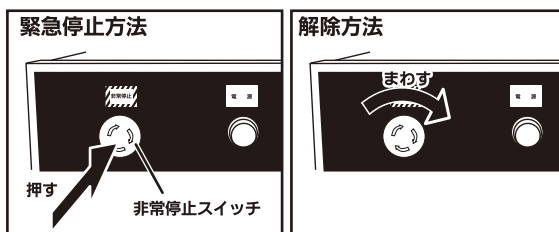
底部に設置した廃液受け皿だけでは取りきれないものは、廃液口に廃液用ホースを取り付け、廃液受け皿を設置します。



操作方法

●非常停止スイッチ

本機には、万一の場合に備え、非常停止スイッチを設けています。緊急停止の場合、非常停止スイッチを押してください。非常停止スイッチは、右にまわすと解除できます。



●圧縮方法

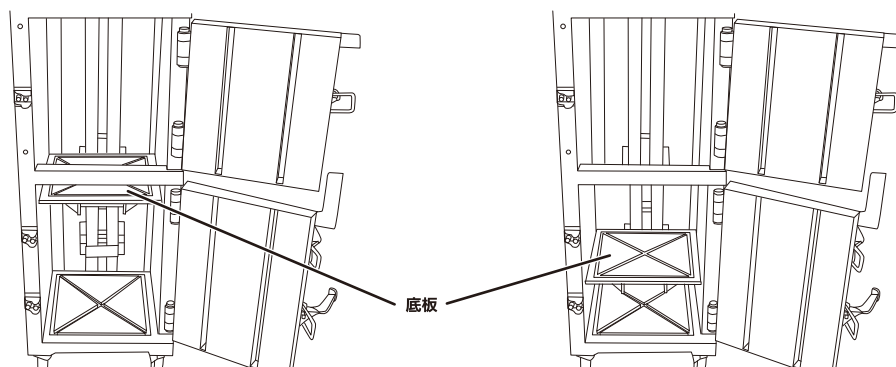
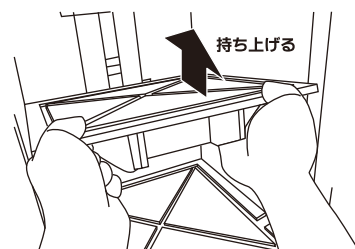
1 差しプラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

電力は直接コンセントからお取りください。やむを得ず延長コードを使用する場合は、断面積2mm²以上、長さ10m以内の延長コードを使用してください。細い電源コードを使用しますと、電源コードが発熱し火災の危険があります。

2 扉を開けて圧縮する缶の種類・量に応じて底板を上段、または下段に設置します。底板は、手前を上を持ち上げてから引くと外せます。

缶の種類	処理能力の目安
20Lペール缶	上段：1個から使用（約3個までは取り出さないで使用可能） 下段：約8個以上から使用（約10個までは取り出さないで使用可能）
18L角缶	上段：1個から使用（約4個までは取り出さないで使用可能） 下段：約10個以上から使用（約14個までは取り出さないで使用可能）
飲料缶(350mL)	上段：1個から使用（約50個までは取り出さないで使用可能） 下段：約200個以上から使用（約250個までは取り出さないで使用可能）



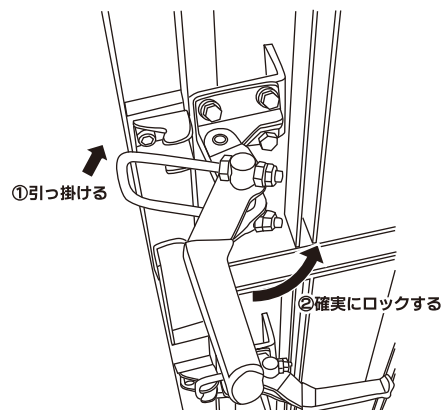
底板を上段に設置した状態

底板を下段に設置した状態

3 圧縮する缶を圧縮室に入れて扉を閉めます。扉は固定ハンドルで確実にロックしてください。

⚠ 警告

- 缶の中に廃液が残っている場合は、必ず廃液を捨て、缶を空にしてから圧縮してください。特に揮発性・引火性の高い溶剤（シンナー・アルコール等）が入っていた缶は、完全に乾燥させてから圧縮してください。
- 缶は必ずキャップを外してから圧縮してください。

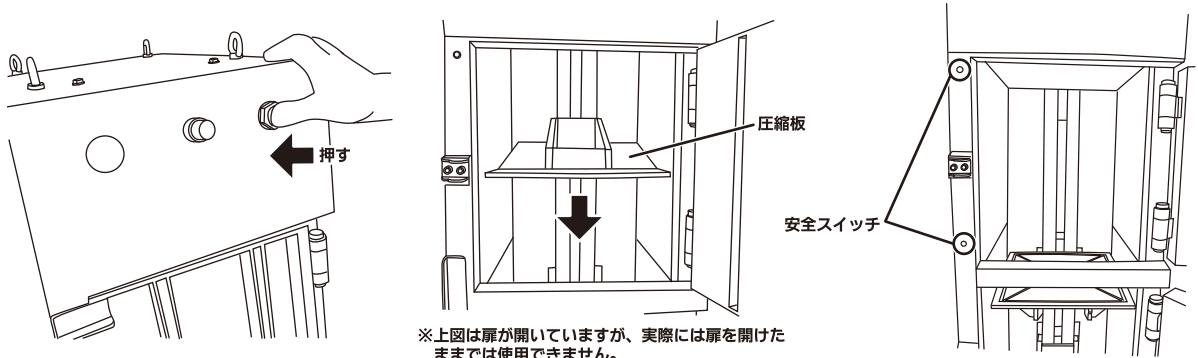


4 電源スイッチを押して、電源をONにします。



5 圧縮スイッチを押します。圧縮スイッチを押している間、圧縮板が下降します。圧縮板が下降しない位置まで到達すると、モーター音が変化しますので、圧縮スイッチを押すのを終了させてください。圧縮スイッチを離すと、圧縮板は自動で一番上まで上昇します。

※本機は扉を閉めないで圧縮板が作動しない安全スイッチ付きになります。圧縮作業を行う際は必ず扉を閉めてください。圧縮中に扉を開けても停止します。

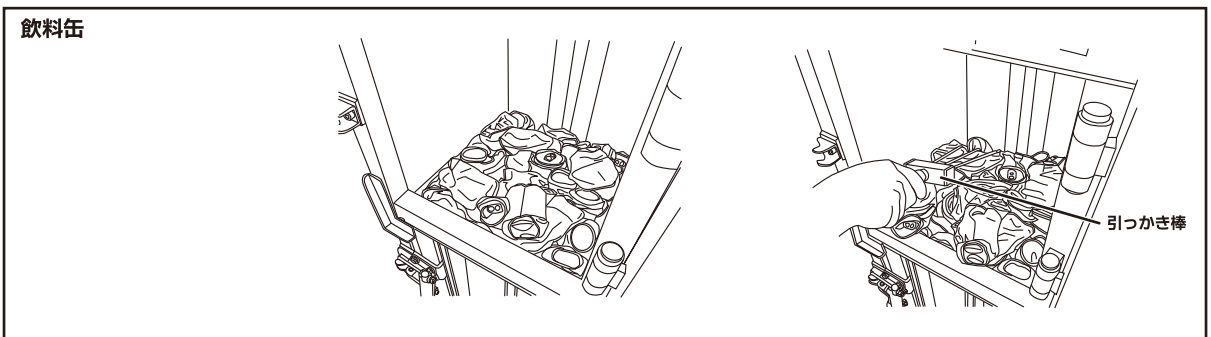
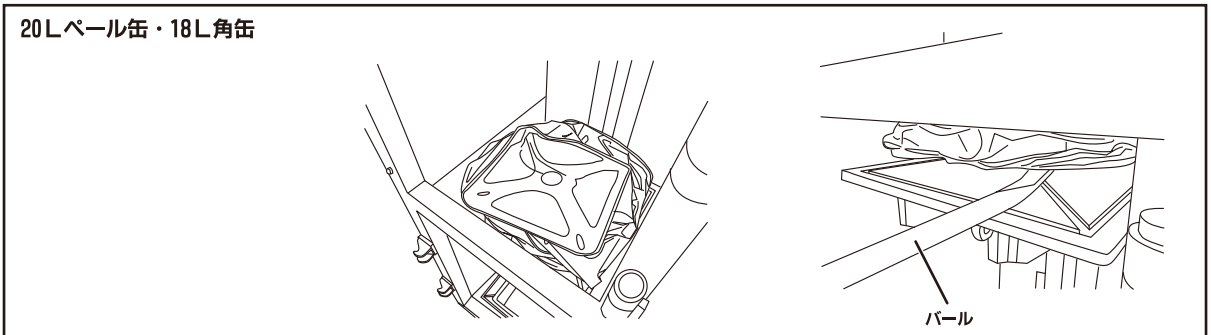


6 圧縮板が一番上まで上昇したのを確認できたら、電源スイッチを押して電源をOFFにします。

7 付属品のパールや引っかき棒等で圧縮した缶を取り出してください。

※圧縮した缶はとがっている部分があり危険ですので、厚手の手袋等で手を保護して取り出してください。

(使用例)



処理後の缶サイズ (目安)

20Lパール缶……………約1/10~1/8

18L角缶 (一斗缶) ……約1/10~1/8

飲料缶……………約1/4~1/2

※圧縮した缶はブロック状にはなりません。

保守と点検

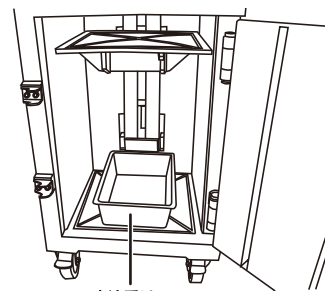
⚠ 注意

整備点検の際は、必ず電源スイッチが切れていることを確認し、差込プラグをコンセントから抜いてください。

● 廃液受け皿の清掃

圧縮作業を繰り返すと、缶の中に入っていた廃液等が落ちて溜まります。定期的に確認し、廃液を処分してください。

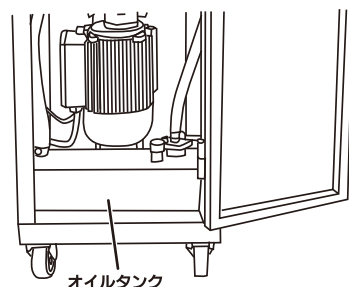
※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。



廃液受け皿

● 油圧オイルの交換

1 本体背面の扉を開けます。

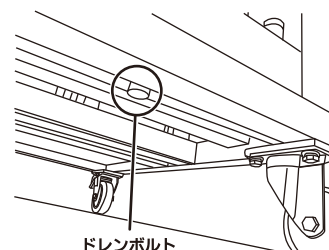


オイルタンク

2 オイルタンクの下にトレイ等（市販品）を置き、スパナ等（市販品）でドレンボルトを外してオイルを抜きます。

※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

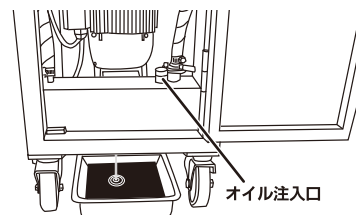
※オイルは使用しなくても自然に劣化しますので、定期的に交換してください。



ドレンボルト

3 オイルが完全に抜けたらドレンボルトを締め、オイル注入口からオイルを入れます。

※オイルは指定のオイルを指定量入れてください。

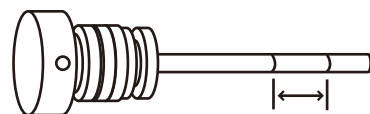


オイル注入口

4 オイルゲージ付きキャップのオイルゲージで注油量がレベルの上下間であることを確認してください。

5 オイルゲージ付きキャップを取り付けます。

6 本体背面の扉を閉めます。



注油量の適正レベル

使用オイル	粘度	必要量
油圧作動油、もしくはタービン油	ISO VG32	約2.5L

トラブルの原因と対策

トラブルの種類	原因	対策
モーターが動かない	・電源からの入力なし	・差込プラグ・電源コードの点検 ・お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口へ連絡する
	・延長コードを使用している	・延長コードは使用しない
	・電源スイッチの故障 ・非常停止スイッチの故障	・お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口へ連絡する
	・非常停止スイッチが作動している	・非常停止スイッチを解除する
	・モーターの故障	・お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口へ連絡する
圧縮板がスムーズに動かない ・または全く動かない 力が弱い、圧縮しない	・油圧オイルの不足、または古くなっている	・オイルの補充、または交換
	・設置状態が良くない	・水平で安定した場所に設置する
	・オイルキャップを交換していない	・オイルキャップをオイルゲージ付きキャップに交換する
	・定格時間を超えて作業している	・使用を中断し本機を休ませる

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2 <http://www.nakatomi-sangyo.com>

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-9615

※商品の仕様等は、改良のため予告なく変更されることがあります。

2010.04